

北区障害者地域自立生活支援室より

支援室だより

第27号 (2007年12月発行)

【年6回偶数月月上旬発行】

【相談窓口】

〒114-0032 東京都北区中十条 1-2-18 障害者福祉センター1階

TEL:03-3905-7225 TEL・FAX 兼用:03-3905-7226 E-MAIL:peernet@ma.kitanet.ne.jp

開所日時:月～金 10時～19時 土 10時～17時 *日・祝・年末年始は休み

“支援室だより”は印刷されたもののほか、視覚に障害のある方のために、「ろくせいがい点字サークル六星会 (福祉センタークラス)」のご協力で **点字版** を、音 (声) 訳「やまびこ」のご協力で **音訳版** を作成しています。ご希望の方は支援室までご連絡ください。(電話・FAX兼用:03-3905-7226)

今号の内容

- トイレガイド、完成！
- 「北区多目的トイレガイド」特集 1～5ページ
- 障害者に関するシンボルマーク 6ページ
- 【情報提供】車いすで気軽に行けるお店紹介 7ページ
- 【情報提供】アメディアフェアが開催されます 8ページ

トイレガイド、完成！

支援室では以前より、北区内にある112ヶ所の車いす用トイレ (多目的トイレ) を調査してまいりましたが、このたび調査結果をまとめた冊子「**北区多目的トイレガイド**」が完成しました。各トイレを1ページずつにまとめ、A5版横 (縦15.8cm、横24.0cm、厚さ3.5cm) のバインダーに収めてあります。区役所や赤羽、滝野川の各障害相談係などの関係機関に1冊ずつお配りしてありますので、ぜひご活用ください。個人でご希望の方にも、支援室まで取りに来ていただければ無料でお渡しいたします。郵送ご希望の方は、[郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望冊数] を記載し、送料分の切手 (2冊まで100円切手5枚、3冊以上は別途ご連絡ください) を同封の上、支援室まで郵送してください。

トイレ調査にご協力いただいた公共施設、店舗等の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今号の“支援室だより”は「北区多目的トイレガイド」特集号！ 次ページへ続く ⇒

最近ではバリアフリー化が進んで車いすでも外出しやすくなりましたが……

駅前で多目的トイレがどこにあるかわからない。

多目的トイレには大人用ベッドがないので、外出中にオムツ交換ができない。

トイレに行きたくなるので、外出中は飲み物を飲まないようにしている。



そんな皆様の声を受け、

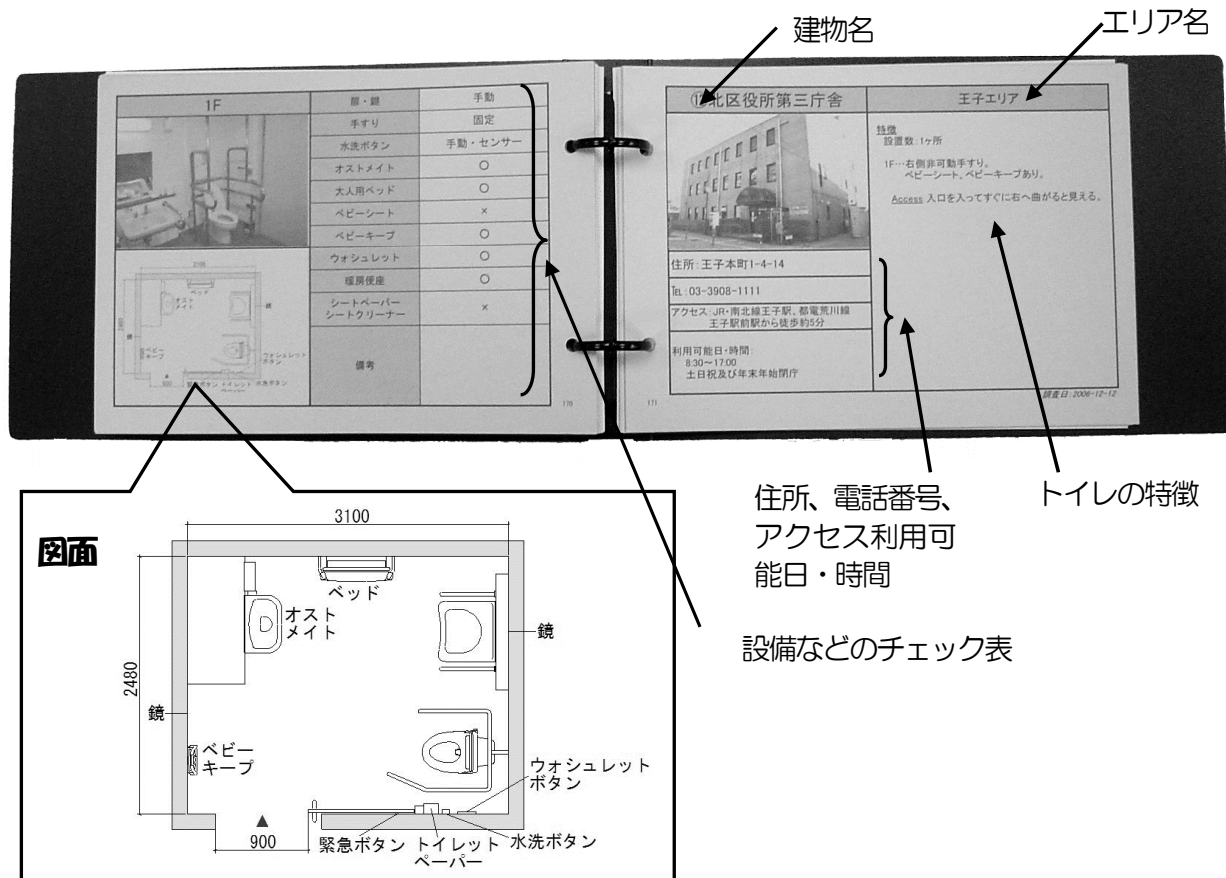
2007年10月

「北区多目的トイレガイド」が完成しました！

多目的トイレが必要な方たちへの便利マップです！

本書の特徴① トイレ内部のデータが充実！

区内の112ヶ所のトイレについて、寸法入り図面や内部写真、設備のチェック表を掲載し、トイレ内部の造りが詳しくわかるようになっています。



本書の特徴② 駅・エリアごとの紹介！

「駅」と、駅を中心とした「エリア」に分けて紹介しているのでわかりやすい構成になっています。エリアごとにページの色が違うので、調べたいトイレが一目で見つかります！

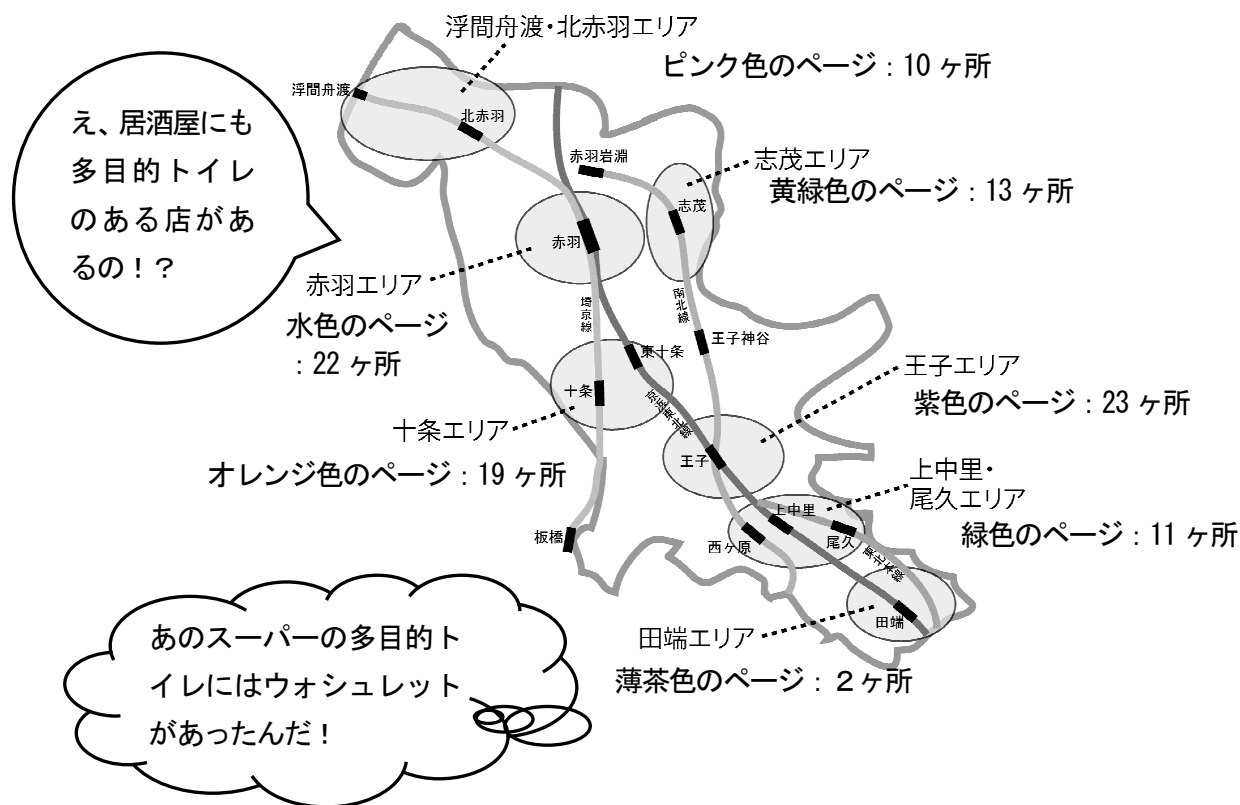
●駅のトイレ（黄色いページ）

JR線 浮間舟渡・赤羽・十条・東十条（駅外）・王子（駅外）・上中里・尾久

南北線 赤羽岩淵・志茂・王子神谷・王子・西ヶ原

いつも使っている駅なのに、多目的
トイレがあるって知らなかった！

●エリア別



本書の特徴③ バインダー式！

必要なページだけを取り外し、持ち運ぶこともできます。今後、改訂版が出たときに、新しいページを追加したり、古いページと入れ替えたりできます。

本書の特徴④ おまけコラム付き！

各エリアの最後には、トイレにまつわる情報を載せた Column（コラム）を掲載！ 読み物としても楽しめます。

【Column（コラム）のテーマ】

- ①オスメイト、②ユニバーサルシート、③駅のトイレ情報、④トイレのJIS規格、⑤バリアフリー新法、⑥有料トイレ、⑦トイレの本

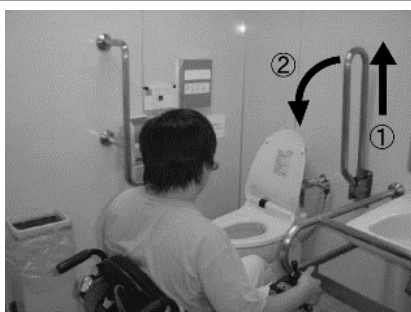
多目的トイレ使い勝手調査を行いました

「北区多目的トイレガイド」の発行後、車いすを使用している3人の方に協力をお願いして、「北区多目的トイレガイド」に掲載されているトイレの中から、王子駅周辺と赤羽駅周辺にある数箇所の多目的トイレに行っていただき、使い勝手をチェックしてもらいました。

全介助が必要で介助用車いす利用の井上創さん(文中では「井」)、自走式車いす利用の棚澤美香さん(文中では「棚」)、電動車いす利用の近藤亜弓さん(文中では「近」)の3名に協力していただき、チェックを行った各トイレについて交わされた意見を以下に掲載します。

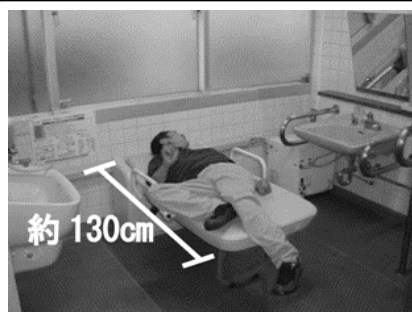
王子エリア

王子駅周辺では全部で5カ所の多目的トイレをチェックしました。



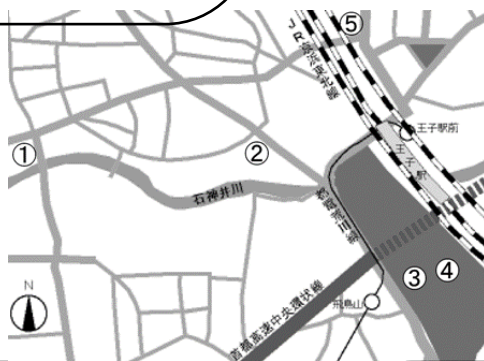
一旦上げてから下ろすというタイプの可動手すりですが、少し固くて動かしづらかったです。広さは十分で、荷物台などもあり便利です。(近)

①サミットストア滝野川紅葉橋店



サイズが小さめの大人用ベッドがあります。全体の広さはもう少し広い方がいいですが、使いづらいということはありません。(井)

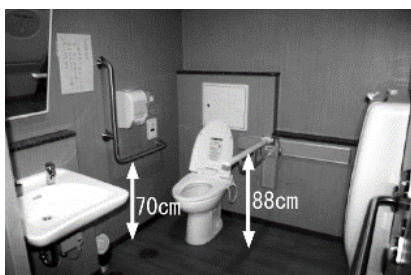
②北区役所第二庁舎



③飛鳥山公園

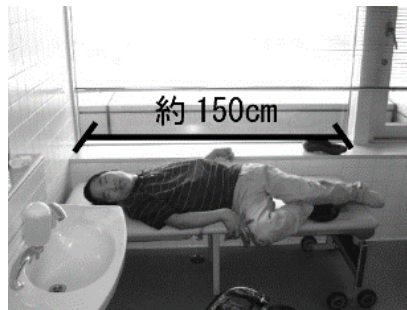
ほとんど公園には多目的トイレがあるので安心です。もう少しキレイだと、もっといいかも!? (笑) (全員)

④飛鳥山博物館



片側の手すりが上下左右、好きな位置に動かせるようにできているのですが、自力で固定するのが難しい場合もあり、左右の高さが違ってしまうと使いづらくなってしまうのが難点です。(棚)

⑤北とぴあ(写真は10Fのトイレ)



区役所のベッドより少し大きめのベッド。このベッドは片側が壁に接しているため、逆側から落ちる心配がありません。(井)

赤羽エリア

赤羽駅周辺では全部で4カ所の多目的トイレをチェックしました。



扉が重くて開けづらく、広さも少し狭かったですが、居酒屋に多目的トイレが設置されていることはあまりないので、ありがたいです。(近)

①日本海庄や



手すりの可動部分が動かなかったですが、固定手すりとして使えば不便ではないです。小便器やベビーシートも設置されています。(近)

②イトーヨーカ堂 (写真は6Fのトイレ)



③赤羽会館



広さや設備などは問題ないのですが、鏡の位置が高いため介助者の顔が映ってしまい、車いす利用者の顔が映らないのが残念でした。(榎)

④アルカード赤羽生活提案館



ショッピングセンターの中に多目的トイレがあるので、安心していろいろなお店を見て回れます。片側の手すりが少し短くてつかみづらかったですが、それ以外に気になることはありません。(近)

まとめ

3人の方には調査終了後意見交換をしてもらいましたが、各人障害の程度によって必要な設備が変わってくるようです。誰にとっても便利なトイレの開発はとても難しい課題です。全介助が必要な方は大人用の大きいベッドが必要な場合がありますが、そのような多目的トイレはまだ数が少ないのが現状です。さらに今回の使い勝手調査ではオストメイト設備(※)については触れていないのですが、トイレガイドの作成をする中で、オストメイト設備が設置されているトイレがまだまだ少ないことも分かりました。

このような、まだ完全に整備されているとはいえない状況の中で、多目的トイレの場所を知りたいといった声は多く、支援室では今後もトイレガイド改訂作業を行ってまいりますので、ご意見・情報をお持ちの方はぜひ支援室までご一報下さい。

※ 直腸がんや膀胱がんなどが原因で臓器に機能障害を負い、人工的に腹部に人工肛門や人工膀胱の「排泄口(ストーマ)」を造設した人を「オストメイト(ostomate)」といいます。

障害者に関するシンボルマークを紹介します

障害者に関するシンボルマークは、国際的に定められたものや法律に基づいているものの他、障害者団体が独自に提唱しているものもあります。そのうち、代表的なものを紹介します。各マークの詳細・使用方法等は、各関係団体にお問い合わせください。

マーク	マークの意味・説明	関連団体
障害者のための国際シンボルマーク 	障害のある方にとって、利用しやすい建築物や公共交通機関であることをあらわす、世界共通のマークです。車いす利用の方だけでなく、障害のあるすべての方のためのマークです。	財団法人日本障害者リハビリテーション協会 http://www.jsrpd.jp/index.html
盲人のための国際シンボルマーク 	視覚障害者の安全やバリアフリーを考慮した建物・設備・機器などにつけられている、世界共通のマークです。信号や音声案内装置、国際点字郵便物、書籍、印刷物などに使用されています。	社会福祉法人日本盲人福祉委員会 http://homepage2.nifty.com/welblind/top.html
身体障害者標識（身体障害者マーク） 	肢体不自由であることを理由に運転免許に条件を付されている方が車に表示するマークです。このマークをつけた車に幅寄せや、割り込みを行った場合には、道路交通法違反になります。	各警察署 http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kotu/shosinmark/mark.htm
耳マーク 	聴覚に障害があることを示し、コミュニケーションへの配慮を求めるマークです。自治体、病院、銀行などで、聴覚障害のある方への援助ができることを示すマークとしても使用されています。	社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 http://www.zennancho.or.jp/special/mimimark.html
ほじょ犬マーク 	身体障害者補助犬法で定められた補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）を受け入れる目印となるマークです。不特定多数の方が利用する施設（デパートや飲食店など）では、補助犬の受け入れが義務付けられています。	厚生労働省 http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/syakai/hojyoken/
オストメイトマーク 	オストメイト（人工肛門・人工膀胱を保有する方）を示すシンボルマークです。オストメイト対応のトイレ等の設備があることを示す場合などに使用されています。	社団法人日本オストミー協会 http://www.joa-net.org/
ハート・プラスマーク 	身体内部に障害がある方を表すマークです。心臓や腎臓などの内部障害や内臓疾患は外見からわかりにくいため、視覚的に示すことで、理解と協力を広げるために作られたマークです。	内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考えるハート・プラスの会 http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/

[お問い合わせ先] 福祉保健局障害者施策推進部在宅福祉課 電話：5320-4147 FAX：5388-1408

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/jiritsu/event/mark070227.html>



情報提供

その1:車いすでも気軽に行けるお店紹介

あ す き ～ ベーカリーカフェ 「a z u k i」 ～



◆所在地：北区神谷 2-48-16 (北運動公園隣)

J R 赤羽駅南口 10 分 / 南北線志茂駅徒歩 8 分

◆営業時間：11:00～22:00 (ラストオーダー 21:30)

◆定休日：火曜 / 第一・三月曜

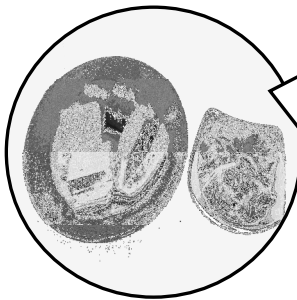
◆電話・FAX：03-3598-4640

今回ご紹介するのは、9月に開店したばかりのベーカリーカフェ「a z u k i」です。駅から少し離れているため、静かで落ち着いた雰囲気のあるお店で、3名の知的障害の方が働いています。カフェだけでなく、パンやケーキ、紅

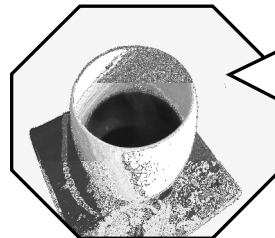


茶の葉の販売もしています。

店内の通路が
ゆったりしていて、
車いすでも通りやすいで
す。トイレも広めで、
スライド式のドアなの
で安心です。



ランチメニューの3種類サンド。サラダ・ドリンクつきで780円。
ランチは他に、「2種類サンド」(680円)、「ハンバーグラント」(880円)があります(プラス200円でデザート付)。



コーヒーが益子焼の茶碗で出てきます。熱いので布製のコースターに包むようにしてお飲みくださいとのこと。

夜には一品料理やセットのディナーがいただけます。

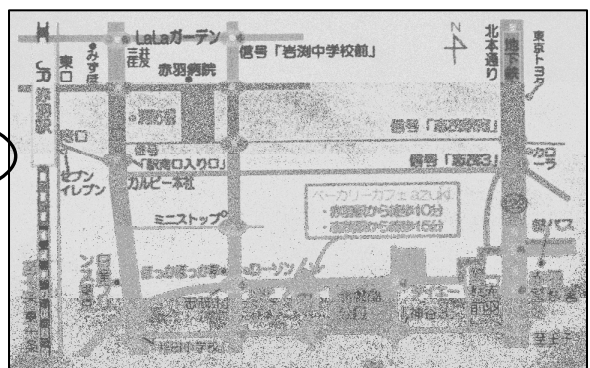


「a z u k i」自慢の
ワインも勢ぞろい!

1週間前までに連絡すれば、
パーティーの予約も受け付けてくれます。

「a z u k i」という名前は、「あ」で始まって3文字の名前なら、

覚えやすく、みんなに親んでもらえる」というところから付けられました。粒ぞろいのスタッフがお客様をお待ちしています!



お店のチラシには手作りの詳しい地図が載っています。

その2:第18回アメディアフェアが開催されます

12月23日(日)に第18回アメディアフェア(視覚障害者向け最新機器展示会)が開催されます。

第18回アメディアフェア

テーマ:今の自分からのステップアップ

日時:2007年12月23日(日)

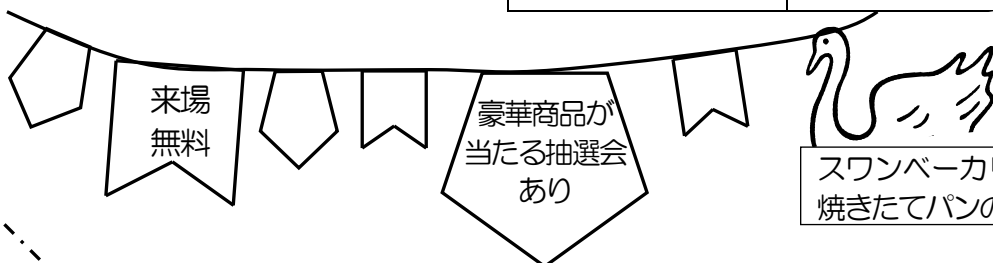
場所:東商センター(台東区柳橋2-1-9)JR総武線浅草橋駅 東口下車徒歩5分

都営浅草線浅草橋駅 A-6出口徒歩3分

内容:約20社による視覚障害者向け最新機器の展示、テーマに即した講演会・シンポジウム

講演会場	プログラム(予定)
11:00~12:00	シンポジウム: 外出・一人歩きの極意
12:30~13:30	講演:豊かな読書で晴 眼者に溶け込もう
14:00~15:00	講演:食生活の自立
15:30~16:30	講演: テープ図書からの脱却

出展が決定している会社		
日本点字図書館	日本盲人会連合	桜雲会
NTT ドコモ	メガネの田中チェーン	アスク
レハ・ビジョン	シナノケンシ株式会社	ラビット
松下電器産業	廣済堂スピーチオ販売	NEC
エクストラ	JBS 日本福祉放送	おんでこ
ケージーエス	カトリア・サービス	甲斐商店
つつじフレンド	ヘルプミー小旗の会	
株式会社 TNK	インフォメーションヒーローズ	



詳細はアメディアフェアのホームページ <http://www.amedia.co.jp/event/amediafair/18/index.htm> をご覧ください。

編集後記

北区障害者地域自立生活支援室から“支援室だより”第27号をお送りしました。国会で障害者自立支援法の改正が取りざたされていますが、支援室でも政治の動きを注視し、常に最新の情報を入手すべく努力しておりますので、障害者自立支援法に関するご相談も、ぜひお寄せください。平成19年が終わろうとしております。本年中は支援室の業務にご配慮をいただき、誠にありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。

* * * * *

生まれて初めて浅草の酉の市へ行ってきました。きつものすごい人出なのだろうと覚悟していたのですが、当日は朝から雨、夜には雷も鳴るといふ悪天候のおかげ(!?)か、夜10時過ぎの境内はあまり混んでおらず、いろいろなお店の熊手をじっくり見て、買うことができました。「雨だから」と閉じこもっていないで思い切って出かけてみると、いいことがあるかもしれません。“支援室だより”をお読みいただいている皆様、今年一年、大変お世話になりました。どうぞ、よいお年を!(くるみ)

